

# 平成 29 年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

## 事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック・パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【宮城県】

1 実践テーマ	【V】
2 実践対象者	川崎町立川崎小学校 第3学年 31名, 第4学年 42名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 ( 体 育 ) ② 行事名 ( ) ③ その他 ( ) (2) 地域における活動 ① イベント名 ( ) ② その他 ( )
4 目標 (ねらい)	ベガルタ仙台アカデミーコーチによるサッカー教室を通して、サッカーの楽しさを味わうとともに、スポーツを通して助け合う心やコミュニケーションの重要性を学ぶ。
5 取組内容	「ベガルタ仙台サッカーキャラバン」 ベガルタ仙台やガンバ大阪で活躍した佐々木勇人氏（他3名）から、サッカーの基礎となるパス、ドリブル、シュートについて教えていただいた。その後、少人数のグループに分かれミニゲームを行った。 (1) ウォーミングアップとしてのボールタッチと、コーチングスタッフによるデモンストレーション ウォーミングアップとして蹴ったボールをキャッチしたり、リフティングの回数を徐々に増やしていったりと、ボールに慣れ親しむ活動に取り組んだ。リフティングでは、ベガルタ仙台のコーチの方が手本を示すと共に、続けて蹴るためのコツを教えてくださいました。また、児童代表とリフティングの回数を競う勝負をするなど、楽しい活動となるような展開の工夫で児童の意欲向上を図ってくれた。



	<p>(2) パス、ドリブル、シュートの基礎練習</p> <p>ボールをしっかり止めることやボールを蹴る場所など、それぞれの練習の前にどんなことに気を付ければよいかを確認しながら活動に取り組んだ。コーチの方々が巡回しながら、子どもたちの良いところを素早く褒めてくれることで、子どもたちは自信をもって生き生きと活動に取り組んだ。</p>  <p>(3) 少人数のチームに分かれてのミニゲーム</p> <p>ミニゲームでは、「失敗を恐れずにどんどんシュートを打とう」というコーチの声掛けで、子どもたちは積極的にゴールを狙う姿が見られた。また、シュートを外したり相手にボールを奪われたりしても「ドンマイ」と声を掛け合う姿や、チャンスの時にパスを要求する姿が見られた。</p> 
<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• どのメニューも楽しみながら取り組めるように工夫され、ボール運動に苦手意識のある子どもたちも意欲的に取り組むことができた。</li> <li>• 一つ一つの動きに対して、上手にできるポイントを教えていただいた。そのおかげで、子どもたちは集中して話を聞き、自分で考えながら動くことに取り組むことができた。</li> <li>• ミニゲームを通して、助け合うことやコミュニケーションの重要性を学ぶことができた。</li> </ul>
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ACL 出場など、Jリーガーとして第一線で活躍してきたコーチの技術を間近に見たり直接指導を受けたりすることで、子どもたちがスポーツ選手への憧れを抱き、スポーツへの興味関心を高められるようにした。</li> </ul>
<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• サッカー教室等、スポーツ振興に積極的に携わっているベガルタ仙台にはノウハウがあるので、実施においての課題は特にない。</li> </ul>
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 児童にも教員にも好評だったので、来年度も申請してみたいと思う。</li> </ul>